

▼二十六年 新津町が市制を施行(人口三七、七〇人、全国で二六番目、県下で七番目、初代市長に布沢省七氏) 市農業委員会が発足する 第一保育所、第一幼稚園、二中、四中が開校

▼二十七年 東新津駅が開業 市消防本部、消防署が設置される 新津市誌を刊行 市教育委員会が発足する 市営公益質屋が開設される

▼二十八年 山先橋の木橋掛替えと、満願寺の上水道取水塔が完成する 第二保育所、五中が開校する 市長に窪田繁雄氏当選 広報にいつを創刊

▼二十九年 新関駅が開業 自治体警察が廃止される 秋葉山に仏舍利小宝塔が完成する 東保育所が開所される

▼三十年 金津村、小合村を合併、人口五二、三六五人となる 市議会の定数が三十六名になる 市営火葬場が完成する

▼三十一年 二小阿賀浦分校が独立、阿賀小と改称する 教育委員が任命制となり五名選任される 秋葉公園に無料休憩所五峰閣を建設し開放する

▼三十二年 新関村を合併、人口五六、〇二二人になる 市営古田・柄目木の両火葬場が廃止になる 新津・新潟間の電話が即時通話になる

▼三十三年 自転車荷車税が廃止となる 旧新関村のうち大字羽下を分離、人口五五、六〇〇人となる 阿賀浦橋の永久橋掛替えと、将来の電化に備える 山谷跨線橋が完成する

▼三十四年 一日の処理能力十五トンのゴミ焼却場と、青年研修所が完成する 小合東幼稚園が開園 新津市区の県会議員の定数が二名となる

▼三十五年 枝肉センターが完成、開業する 金津・小合・新関の三支所を廃止し出張所を設置 心配ごと相談所を開所 新津・新潟間が復線化になる

▼三十六年 小阿賀橋、新瀬橋が新設され、豊年橋と鉦盛橋の木橋掛替えが完成する 市長に桂登達氏が当選する 冬には豪雪、八月には集中豪雨、九月は第二室戸台風に見舞われ、二中体育館が倒壊する

▼三十七年 図書館が自動車文庫を発足させる 二小体育館が火災で全焼 二中体育館再建される

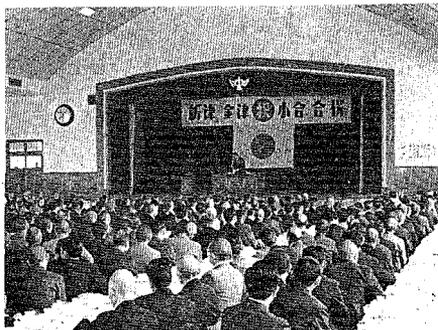
26年～37年

年表でみる新津市の歩み

30年には金津・小合が仲間入り、



36年9月16日、台風18号(第二室戸台風)で県下一帯は暴風雨で大被害。二中体育館が松の木に押されて倒壊しました。



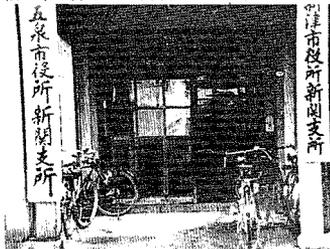
市制施行の4年後には、金津村と小合村を合併。五中を会場に「市村合併祝賀記念式」が行われました。合併で人口は約1万5,000人増えて5万2,000人ほどになりました。

地目別土地の移り変わり

| 区 分 | 市制当時 | 55年 |
|-----|-------|-------|
| 田 | 2,136 | 3,346 |
| 畑 | 517 | 552 |
| 宅 地 | 250 | 778 |
| 池 沼 | 11 | 5.6 |
| 山 林 | 218 | 920 |
| 原 野 | 55 | 30 |
| 雑種地 | 2 | 143 |
| その他 | 706 | 2,021 |
| 計 | 3,895 | 7,799 |

* 市制施行当時は25年版市勢要覧から
* 55年は、1月1日現在の税務課概要調書から

あなたが生きた30年
市政の動きをたどって



合併問題で大揺れ 新関村の合併は32年3月のことでしたが、これをめぐって問題も。全部編入か一部分離かで村は大もめになった。このため小学校の同盟休校や写真のような共立支所、もできました。

お買物、ご用命は市内で

新年おめでとうございます

みなさまの生命・財産をガス事故から守るため日夜努力しております。ガスもれにお気付きになりましたら、すぐ4-2171のガス会社へ通報ください。

越後天然ガス

内科・小児科・レントゲン科

謹賀新年 大坂医院

新町1丁目6-12 TEL(4)5122